

葉山土工協会長

「節度ある競争」に言及

歯止めのない低価格を懸念



これまで過度な低価格競争を問題視する発言はあったが、「節度ある競争」にまで踏み込んだのは今回が初めて。

日本土工工業協会の葉山莞児会長は7日、16団体新春賀詞交歓会で「節度ある競争なくして将来はない」と歯止めがかからない受注競争の激化について懸念を示した。こ

裏返せば、競争制限と誤解を招きかねない発言をしなければならぬ。ほ

ど、競争激化による弊害が深刻化しているといえる。

葉山会長は、脱談台を視野にしたコンプライア

の取り組みを土工協が進めてきたこの2年間で、「会員企業は経営的に苦しさを増している」と経営環境が悪化していることを指摘した。

さらに「発注者に（応札者が）もてあそばれて

いるんじゃないかと、ある面思っている」と歯止めがかからない受注競争の激化を皮肉った。

既に昨年の新春賀詞交歓会で、葉山会長は「業界の再編・淘汰（とうた）

とすみ分けが焦点」としていたが、いずれも大きな動きにはならなかったことも背景にありそう

だ。

新春

賀詞交歓会